



意外と知らない 車いすの正しい使い方

Part.1



車いすには正しい使い方があります。誤った使用法は車いすの機能を十分に発揮しないばかりか、思わぬ事故やケガ、トラブルを引き起こすことも少なくありません。常に正しい使い方、乗り方を実践しましょう。

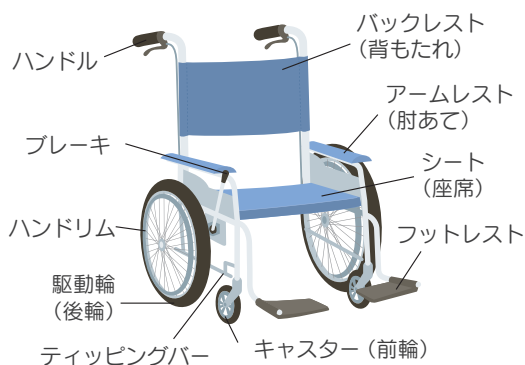
車いすの部位と役割

ブレーキ

後輪に部品を押し付け、車いすが回転しないようにします。

ハンドリム

自走できるように、後輪の外側についている持ち手の部分です。



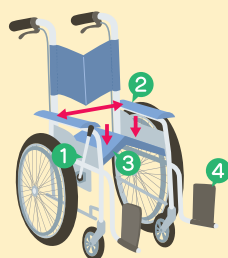
フットレスト

足を乗せるプレートの部分です。上げ下げができます。

ティッピングバー

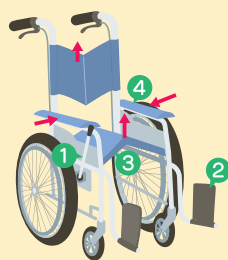
前輪を浮かせる際に介護者が踏み込む部分です。段差を上げる際などに使います。

広げ方・たたみ方



広げ方

- 1 ブレーキがかかっているか確認します。
- 2 車いすの横に立ちアームレストを両手で押し広げると少し広がります。
- 3 車いすの前に立ち両手をハの字にしてシートを押し下げます。
- 4 フットレストは利用者が座った後に下げるようにしましょう。

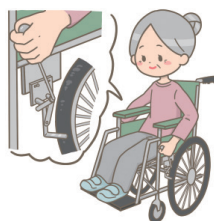


たたみ方

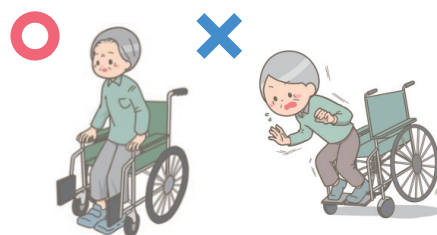
- 1 ブレーキがかかっているか確認します。
- 2 左右のフットレストが上がっているか確認します。
- 3 車いすの横に立ち、座席の真ん中の手前と奥を持ち、上に引き上げます。
- 4 アームレストを左右近づけて折りたたみます。

乗降時の注意点

乗降時は、ブレーキをかけましょう。ブレーキをかけないと車いすが動いてしまい大変危険です。



乗降時は、フットレスト（足置き）を上げましょう。フットレストを下げてままだと、つまずいて転んでしまう可能性があります。



★ 介助者は、こまめに声かけをすること、焦らずゆっくりと進むことを心がけましょう！